

## 調査結果の概要

## 1 生活実態調査結果（概要）

## （1）男女構成

性別	人数	有効%
男性	304	95.0
女性	16	5.0
不明	0	0.0
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0
合計	320	100.0

・男性は95.0%、女性は5.0%となっている。

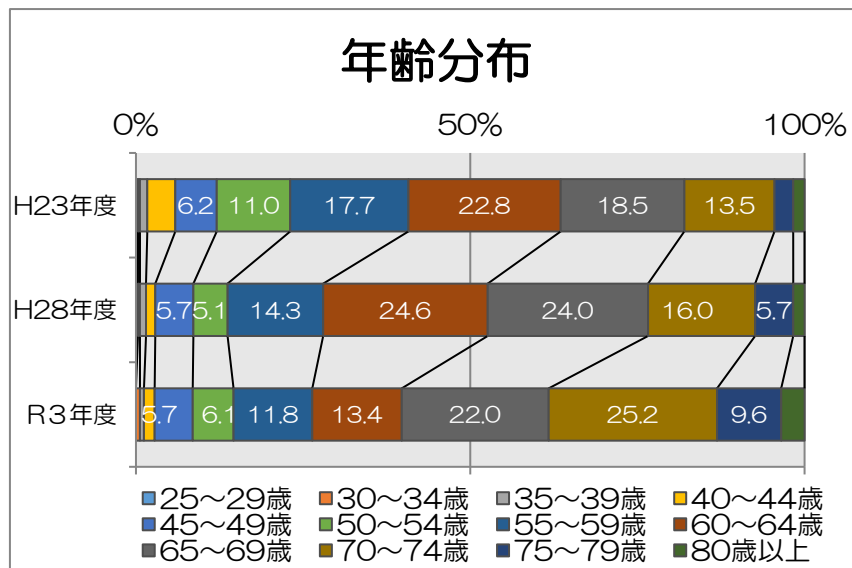
## （2）年齢階層

年齢分布（5歳ごと）

	人数	回答%	有効%
29歳以下	0	0.0	0.0
30～34歳	2	0.6	0.6
35～39歳	2	0.6	0.6
40～44歳	5	1.6	1.6
45～49歳	18	5.6	5.7
50～54歳	19	5.9	6.1
55～59歳	37	11.6	11.8
60～64歳	42	13.1	13.4
65～69歳	69	21.6	22.0
70～74歳	79	24.7	25.2
75～79歳	30	9.4	9.6
80歳以上	11	3.4	3.5
有効回答数	314	98.1	100.0
無回答	6	1.9	
合計	320	100.0	

平均年齢の経年変化

H23年度	H28年度	R3年度
60.9歳	63.9歳	65.1歳



- 平均年齢は 65.1 歳で、上昇傾向にある。
- 65 歳以上の割合は、平成 23 年度は 4 割以下であったが、今回調査では 6 割を超えており、高齢化が進んでいる。

### (3) 路上生活の形態

寝ている場所はだいたいいつも決まっていますか。

		人数	回答%	有効%
1. 決まっている	1. 公園	71	22.2	24.3
	2. 道路	54	16.9	18.5
	3. 河川	94	29.4	32.2
	4. 駅舎	33	10.3	11.3
	5. その他	40	12.5	13.7
有効回答数		292	91.3	100.0
2. 決っていない		28	8.8	
無回答		0	0.0	
合計		320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合。小数点第2位を四捨五入しているため、合計は 100% とならない。

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（292）に占める割合

- 9割以上の方は、寝ている場所がだいたい決まっている。
- 寝ている場所は、「河川」が 32.2% で最も多く、「公園」が 24.3%、「道路」が 18.5% と続いている。

## (4) 日中の過ごし方

日中の過ごし方として最も多いものを1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 仕事をしている	95	29.7	29.9
2. 求職活動をしている	6	1.9	1.9
3. 仕事や求職活動をせず、寝ている場所と同じ場所で引き続き過ごしている	96	30.0	30.2
4. 仕事や求職活動をせず、寝ている場所と違う場所で過ごしている	67	20.9	21.1
5. その他	54	16.9	17.0
有効回答数	318	99.4	100.0
無回答	2	0.6	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（318）に占める割合

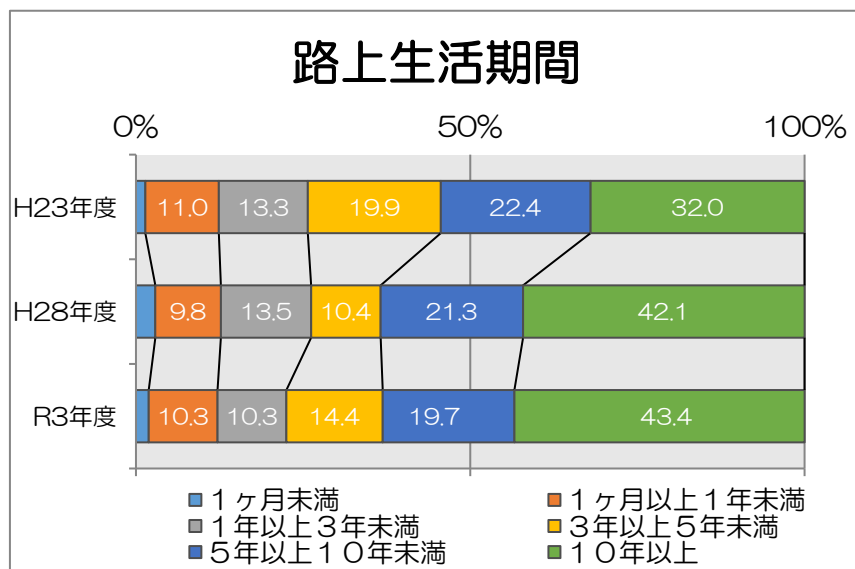
- ・「仕事や求職活動をせず、寝ている場所と同じ場所で引き続き過ごしている」は30.2%、「仕事をしている」は29.9%
- ・仕事又は求職活動をしている人は約3割

## (5) 路上生活の期間

今回の路上（野宿）生活をするようになって、どのくらいたちますか。（昔のことは除く）

	人数	回答%
1ヶ月未満	6	1.9
1ヶ月～1年未満	33	10.3
1年～3年未満	33	10.3
3年～5年未満	46	14.4
5年～10年未満	63	19.7
10年以上	139	43.4
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

路上生活期間の経年変化



- ・路上生活歴が10年以上の人は全体の4割以上
- ・経年変化では、路上生活歴が10年以上の割合は増加傾向

## (6) 仕事と収入の状況

現在収入のある仕事をしていますか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. している	168	52.5	52.7
2. していない	151	47.2	47.3
有効回答数	319	99.7	100.0
無回答	1	0.3	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数(319)に占める割合

収入のある仕事を「1. している」と答えた方について、具体的にはどのような仕事をしていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	件数	回答%	ケース%
1. 建設日雇	14	8.0	8.3
2. 運輸日雇(運搬作業、引越し等)	2	1.1	1.2
3. 廃品回収(アルミ缶・ダンボール・粗大ゴミ・雑誌集め)	110	62.9	65.5
4. その他雑業(看板持ち・チケットならび・雑誌の販売等)	7	4.0	4.2
5. その他	42	24.0	25.0
複数回答の合計数	175	100.0	104.2
有効回答者数	168	52.5	
無回答	0	0.0	
非該当	152	47.5	
合計	320	100.0	

※ 選択肢1~5の「回答%」は、複数回答の合計数(175)に占める割合。有効回答者数、無回答及び非該当の「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数(168)に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

収入のある仕事を「1. している」と答えた方について、仕事による収入は月額どれくらいありますか。(ここ3ヶ月くらいの平均)

	人数	回答%	有効%
1000円未満	1	0.3	0.6
1000~5000円未満	4	1.3	2.5
5000~1万円未満	5	1.6	3.1
1~3万円未満	36	11.3	22.2
3~5万円未満	47	14.7	29.0
5~10万円未満	45	14.1	27.8
10~15万円未満	15	4.7	9.3
15~20万円未満	4	1.3	2.5
20万円以上	5	1.6	3.1
有効回答数	162	50.6	100.0
無回答	6	1.9	
非該当	152	47.5	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数(162)に占める割合

平均額	最高額	最低額
52,894円	250,000円	253円

- 仕事をしている人は、約半数の52.7%
- 仕事をしている人の具体的な仕事は、「廃品回収」が65.5%で最も多い。
- 仕事をしている人の平均月額収入は、約53,000円

## (7) 路上生活の直前の職業と雇用形態

初めて路上（野宿）生活をする前にやっていた仕事は何ですか。

	人数	回答%
01. 管理的職業従事者	2	0.6
02. 専門的・技術的職業従事者	7	2.2
03. 事務従事者	11	3.4
04. 販売従事者	15	4.7
05. サービス職業従事者	23	7.2
06. 保安職業従事者	15	4.7
07. 農林漁業従事者	2	0.6
08. 生産工程従事者	42	13.1
09. 輸送、機械運転従事者	14	4.4
10. 建設・採掘従事者	121	37.8
11. 運搬・清掃・包装等従事者	30	9.4
12. その他	30	9.4
13. 職業なし	8	2.5
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

初めて路上（野宿）生活をする前にやっていた仕事について、「01」～「12」と答えた方について、その時の立場は何でしたか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 経営者・会社役員	4	1.3	1.3
2. 自営・家族従業者	16	5.0	5.1
3. 常勤職員・従業員（正社員）	152	47.5	48.9
4. 臨時・パート・アルバイト	63	19.7	20.3
5. 日雇	59	18.4	19.0
6. その他	17	5.3	5.5
有効回答数	311	97.2	100.0
無回答	1	0.3	
非該当	8	2.5	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（311）に占める割合

- 初めて路上生活をする前に従事していた仕事は、「建設・採掘従事者」が37.8%、「生産工程従事者」が13.1%
- 初めて路上生活をする前に従事していた仕事について、その時の立場は、「常勤職員・従業員（正社員）」が約半数（48.9%）を占め、「臨時・パート・アルバイト」が20.3%、「日雇」が19.0%と続いている。

## (8) 路上生活に至った理由

今回の路上(野宿)生活をするようになった主な理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	件数	回答%	ケース%
01. 倒産や失業	69	15.8	21.6
02. 仕事が減った	56	12.8	17.5
03. 病気・けがや高齢で仕事ができなくなった	58	13.3	18.1
04. 労働環境が劣悪なため、仕事を辞めた	17	3.9	5.3
05. 人間関係がうまくいかなくて、仕事を辞めた	42	9.6	13.1
06. 01, 02, 03, 04, 05以外の理由で収入が減った	7	1.6	2.2
07. 借金取立により家を出た	5	1.1	1.6
08. アパート等の家賃が払えなくなった	42	9.6	13.1
09. 契約期間満了で宿舎を出た	2	0.5	0.6
10. ホテル代, ドヤ代等が払えなくなった	10	2.3	3.1
11. 差し押さえによって立ち退きさせられた	1	0.2	0.3
12. 病院や施設等から出た後行き先がなかった	6	1.4	1.9
13. 家族との離別・死別	18	4.1	5.6
14. 家庭関係の悪化	16	3.7	5.0
15. 飲酒、ギャンブル	17	3.9	5.3
16. その他	70	16.1	21.9
複数回答の合計数	436	100.0	136.3
有効回答者数	320	100.0	
無回答	0	0.0	
合計	320	100.0	

※ 選択肢01～16の「回答%」は、複数回答の合計数(436)に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数(320)に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数(320)に占める割合。複数回答のため、合計は100%を超える。

・今回の路上生活に至った理由は、「倒産や失業」が21.6%、「病気・けがや高齢で仕事ができなくなった」が18.1%、「仕事が減った」が17.5%と、仕事に関するものが上位を占めている。

## (9) 健康状態

現在、健康状態はどうか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1. たいへんよい	49	15.3
2. よい	148	46.3
3. あまりよくない	89	27.8
4. よくない	34	10.6
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

健康状態が「3. あまりよくない」、「4. よくない」と答えた方について、どのような対処をしていますか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 通院	19	5.9	15.4
2. 市販薬	25	7.8	20.3
3. 何もしていない	79	24.7	64.2
有効回答数	123	38.4	100.0
無回答	0	0.0	
非該当	197	61.6	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（123）に占める割合

・健康状態は、約6割の人が「たいへんよい」又は「よい」と回答

## (10) 福祉制度の利用状況

巡回相談員に会ったことはありますか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 会ったことがあり、相談した	79	24.7	24.8
2. 会ったことはあるが、相談したことはない	195	60.9	61.1
3. 会ったことはない	45	14.1	14.1
有効回答数	319	99.7	100.0
無回答	1	0.3	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（319）に占める割合

・巡回相談員に会ったことがある人は85.9%にのぼるが、このうち、声掛け等を行った巡回相談員に相談したことがある人は24.8%

## (11) 今後どのような生活を望むか

今後、どのような生活を望んでいますか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1. アパートに住み、就職して自活したい	43	13.4
2. 寮付の仕事で自活したい	6	1.9
3. アパートで福祉の支援を受けながら、軽い仕事をみつきたい	38	11.9
4. 就職することはできないので何らかの福祉（生活保護や施設入所等）を利用して生活したい	20	6.3
5. 入院したい	1	0.3
6. 家族の元に戻りたい	3	0.9
7. 今のままでいい（路上（野宿）生活）	152	47.5
8. わからない	25	7.8
9. その他	32	10.0
有効回答数	320	100.0
無回答	0	0.0
合計	320	100.0

- ・ 今後望む生活として、約半数（47.5%）は「今のままでいい」と回答
- ・ 一方で、「アパートに住み、就職して自活したい」（13.4%）、「アパートで福祉の支援を受けながら、軽い仕事をみつきたい」（11.9%）という人もいる。

## (12) 就職活動状況

現在、就職するための就職活動をしていますか。1つ選んでください。

	人数	回答%	有効%
1. 就職活動をしている	21	6.6	6.6
2. 今は就職活動をしていないが、今後、就職活動をする予定である	33	10.3	10.4
3. 今も就職活動をしていないし、今後も就職活動をする予定はない	264	82.5	83.0
有効回答数	318	99.4	100.0
無回答	2	0.6	
合計	320	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（320）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答を除いた有効回答数（318）に占める割合

- ・ 8割以上が「今も就職活動をしていないし、今後も就職活動をする予定はない」と回答



## 2 主要駅における夜間調査結果（概要）

### （1）年齢階層

年齢分布（5歳ごと）

	人数	回答%
29歳以下	0	0.0
30～34歳	0	0.0
35～39歳	1	3.1
40～44歳	0	0.0
45～49歳	3	9.4
50～54歳	2	6.3
55～59歳	3	9.4
60～64歳	5	15.6
65～69歳	6	18.8
70～74歳	11	34.4
75～79歳	1	3.1
80歳以上	0	0.0
有効回答数	32	100.0
無回答	0	0.0
合計	32	100.0

・平均年齢は 63.5 歳

### （2）日中の過ごし方

日中の過ごし方として最も多いものを1つ選んでください。

	人数	回答%
1. 仕事をしている	4	12.5
2. 求職活動をしている	2	6.3
3. 仕事や求職活動をせず、寝ている場所と同じ場所で引き続き過ごしている	7	21.9
4. 仕事や求職活動をせず、寝ている場所と違う場所で過ごしている	14	43.8
5. その他	5	15.6
有効回答数	32	100.0
無回答	0	0.0
合計	32	100.0

・「仕事や求職活動をせず、寝ている場所と違う場所で過ごしている」は 43.8%、「仕事や求職活動をせず、寝ている場所と同じ場所で引き続き過ごしている」は 21.9%

・仕事又は求職活動をしている人は2割以下

### (3) 路上生活の期間

今回の路上(野宿)生活をするようになって、どのくらいたちますか。(昔のことは除く)

	人数	回答%
1ヶ月未満	3	9.4
1ヶ月～1年未満	5	15.6
1年～3年未満	5	15.6
3年～5年未満	4	12.5
5年～10年未満	7	21.9
10年以上	8	25.0
有効回答数	32	100.0
無回答	0	0.0
合計	32	100.0

・路上生活期間が10年を超える人は25%

### (4) 仕事と収入の状況

現在収入のある仕事をしていますか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1.している	8	25.0
2.していない	24	75.0
有効回答数	32	100.0
無回答	0	0.0
合計	32	100.0

収入のある仕事を「1.している」と答えた方について、具体的には、どのような仕事をしていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)	件数	回答%	ケース%
1.建設日雇	2	25.0	25.0
2.運輸日雇(運搬作業、引越し等)	0	0.0	0.0
3.廃品回収(アルミ缶・ダンボール・粗大ゴミ・雑誌集め)	2	25.0	25.0
4.その他雑業(看板持ち・チケットならび・雑誌の販売等)	1	12.5	12.5
5.その他	3	37.5	37.5
複数回答の合計数	8	100.0	100.0
有効回答者数	8	25.0	
無回答	0	0.0	
非該当	24	75.0	
合計	32	100.0	

※ 選択肢1～5の「回答%」は、複数回答の合計数(8)に占める割合。有効回答者数、無回答及び非該当の「回答%」は、合計人数(32)に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数(8)に占める割合

収入のある仕事を「1.している」と答えた方について、仕事による収入は月額どれくらいありますか。（ここ3ヶ月くらいの平均）

	人数	回答%	有効%
1000 円未満	0	0.0	0.0
1000～5000 円未満	0	0.0	0.0
5000～1 万円未満	0	0.0	0.0
1～3万円未満	4	12.5	50.0
3～5万円未満	2	6.3	25.0
5～10 万円未満	1	3.1	12.5
10～15 万円未満	0	0.0	0.0
15～20 万円未満	1	3.1	12.5
20 万円以上	0	0.0	0.0
有効回答数	8	25.0	100.0
無回答	0	0.0	
非該当	24	75.0	
合計	32	100.0	

※ 「回答%」は、合計人数（32）に占める割合

「有効%」は、合計から無回答及び非該当を除いた有効回答数（8）に占める割合

平均額	最高額	最低額
48,375 円	150,000 円	20,000 円

- 仕事をしている人の割合は 25%
- 仕事をしている人の平均月額収入は約 48,000 円

## （５）路上生活に至った理由

今回の路上（野宿）生活をするようになった主な理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

（複数回答）	件数	回答%	ケース%
01. 倒産や失業	7	15.9	21.9
02. 仕事が減った	9	20.5	28.1
03. 病気・けがや高齢で仕事ができなくなった	3	6.8	9.4
04. 労働環境が劣悪なため、仕事を辞めた	2	4.5	6.3
05. 人間関係がうまくいかなくて、仕事を辞めた	5	11.4	15.6
06. 01, 02, 03, 04, 05以外の理由で収入が減った	0	0.0	0.0
07. 借金取立により家を出た	0	0.0	0.0
08. アパート等の家賃が払えなくなった	1	2.3	3.1
09. 契約期間満了で宿舎を出た	0	0.0	0.0
10. ホテル代, ドヤ代等が払えなくなった	1	2.3	3.1
11. 差し押さえによって立ち退きさせられた	0	0.0	0.0
12. 病院や施設等から出た後行き先がなかった	0	0.0	0.0
13. 家族との離別・死別	2	4.5	6.3
14. 家庭関係の悪化	2	4.5	6.3
15. 飲酒、ギャンブル	1	2.3	3.1
16. その他	11	25.0	34.4
複数回答の合計数	44	100.0	137.5
有効回答者数	32	100.0	
無回答	0	0.0	
合計	32	100.0	

※ 選択肢 01～16の「回答%」は、複数回答の合計数（44）に占める割合。有効回答者数及び無回答の「回答%」は、合計人数（32）に占める割合

「ケース%」は、有効回答者数（32）に占める割合。複数回答のため、合計は 100%を超える。

- 今回の路上生活に至った理由は、「仕事が減った」が28.1%「倒産や失業」が21.9%、「人間関係がうまくいかなくて、仕事を辞めた」が15.6%と、仕事に関するものが上位を占めている。

## (6) 福祉制度の利用状況

巡回相談員に会ったことはありますか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1. 会ったことがあり、相談した	6	18.8
2. 会ったことはあるが、相談したことはない	17	53.1
3. 会ったことはない	9	28.1
有効回答数	32	100.0
無回答	0	0.0
合計	32	100.0

- 巡回相談員に会ったことがある人は71.9%にのぼるが、このうち、声掛け等を行った巡回相談員に相談したことがある人は18.8%

## (7) 今後どのような生活を望むか

今後、どのような生活を望んでいますか。1つ選んでください。

	人数	回答%
1. アパートに住み、就職して自活したい	6	18.8
2. 寮付の仕事で自活したい	1	3.1
3. アパートで福祉の支援を受けながら、軽い仕事をみつけない	6	18.8
4. 就職することはできないので何らかの福祉（生活保護や施設入所等）を利用して生活したい	3	9.4
5. 入院したい	1	3.1
6. 家族の元に戻りたい	1	3.1
7. 今のままでいい（路上（野宿）生活）	7	21.9
8. わからない	2	6.3
9. その他	5	15.6
有効回答数	32	100.0
無回答	0	0.0
合計	32	100.0

- 今後望む生活として、「今のままでいい」は21.9%、「アパートに住み、就職して自活したい」は18.8%、「アパートで福祉の支援を受けながら、軽い仕事をみつけない」は18.8%